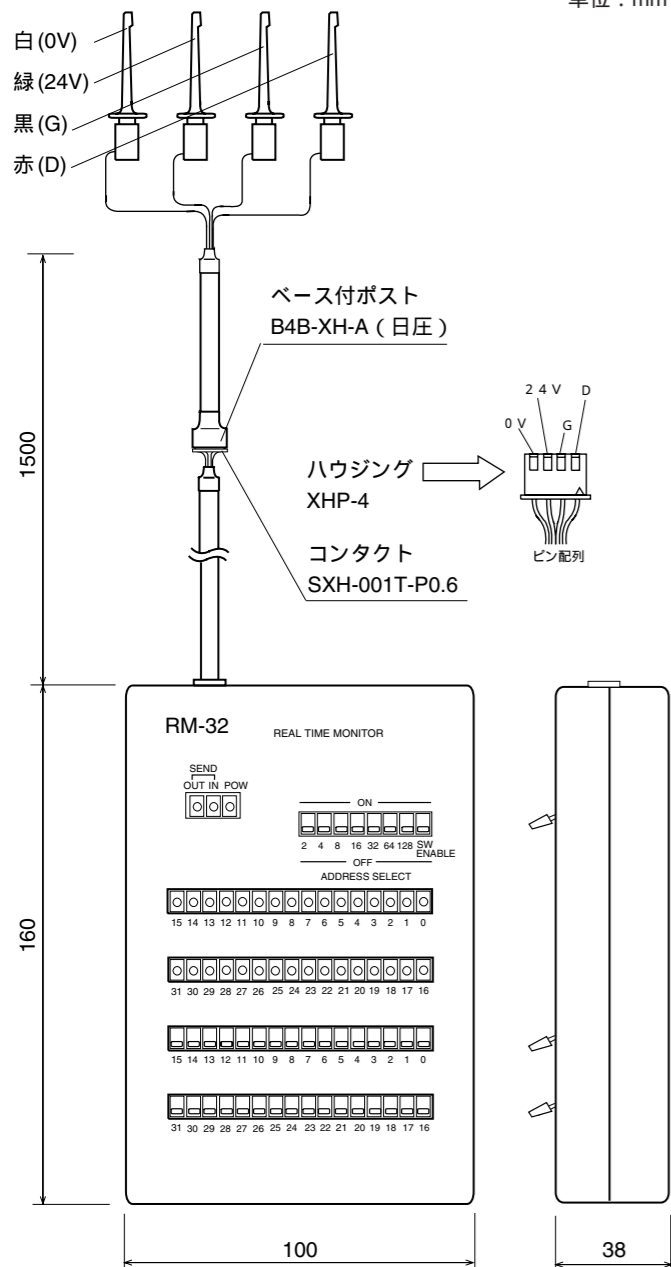


## 外形寸法

単位：mm



## 仕様

一般仕様	
項目	仕様
電源電圧	DC 24V +15% - 10%
使用周囲温度	0 ~ +50
保存温度	-20 ~ +70
使用周囲湿度	35 ~ 85%RH 結露なきこと
雰囲気	腐食性ガスがないこと
絶縁抵抗	外部端子と外箱間 20M 以上
耐電圧	外部端子と外箱間 AC1000V 1分間
耐ノイズ	1200Vp-p (パルス幅1μs)

性能仕様	
項目	仕様
伝送方式	双方向時分割多重伝送方式
同期方式	ビット同期方式
伝送手順	ユニライン・プロトコル
伝送速度	28.5kbps (基本)
接続方式	コネクタ、プローブによる接続
伝送距離	最大200m (基本)

個別仕様	
項目	仕様
入力点数	32点
出力点数	32点
消費電力	2.0W
質量	370g

## 動作表示

- ・本機には電源電圧低下検知の異常状態監視機能があります。
- ・POWERとSENDの表示が下の表のように異常状態の表示（エラー表示）を行います。
- ・エラー表示をした場合、正常に復帰させるにはいったん電源を切り、エラーの原因を取り除いてから再投入してください。

エラー表示		
表示LED	表示状態	異常の内容
POWER (電源表示)	点灯	正常
	点滅	電圧低下検知
	消灯	電源断
SEND (伝送表示)	点滅	正常
	消灯	伝送異常

## NKE株式会社

(旧社名 (株)中村機器エンジニアリング)

本 社 工 場 〒617-0828 京都府長岡京市馬場図所27 TEL 075-955-0071(代) FAX 075-955-1063  
 東 京 営 業 所 〒110-0016 東京都台東区台東 2 丁目12-2 (不二DICビル) TEL 03-3833-5330(代) FAX 03-3833-5350  
 名 古 屋 営 業 所 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山 2 丁目13-22 (I TOHビル) TEL 052-322-3481(代) FAX 052-322-3483  
 大 阪 営 業 所 〒550-0013 大阪市西区新町 1 丁目2-13 (新町ビル) TEL 06-6538-7136(代) FAX 06-6538-7138  
 京 都 営 業 所 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町366-1 TEL 075-924-3293(代) FAX 075-924-3290  
 伏 見 工 場 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町366-1 TEL 075-931-2731(代) FAX 075-934-8746

お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。

© 2005 NKE Corporation

NO. UM373-C

# NKE

## UNILINE 取扱説明書

# RM-32 II

## リアルタイムモニタ

型式番号  
RM-32

本システム機器をお買いあげいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。また、システム全体の取扱いについてはテクニカルマニュアルをご参照ください。安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

**警告** システム安全性の考慮  
本システムは、一般産業用であり安全用機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。設置や交換作業の前には、必ずシステムの電源を切ってください。



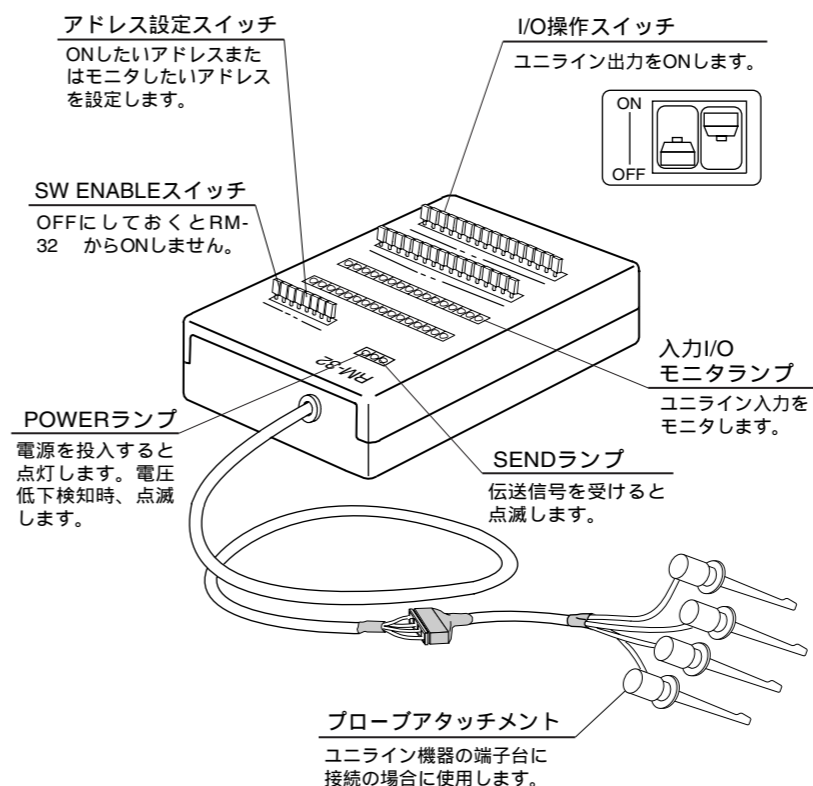
注意

- システム電源  
DC 24V 安定化電源を使ってください。非安定電源はシステムの誤動作の原因となります。高圧線、動力線との分離  
本システムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ライン、入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。  
コネクタ接続、端子接続  
・コネクタ内側には金属くずなどを入れないでください。  
・コネクタがはずれないようケーブル長さなどに配慮してください。  
・誤配線は機器に損傷を与えます。  
本システムは、下記資料に定められた仕様や条件の範囲内でご使用ください。

## 特長

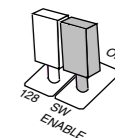
ユニラインは各社のPLCに簡単に接続できる省配線データ伝送システムです。本システムの出力I/OのONや、入力I/OのモニタがPLCと平行して可能です。このため端末各部のI/Oチェックが制御側のソフト完成を待たずにいれるので、工期を有効に使えます。リアルタイムモニタは、本システムの伝送ラインに接続するだけで簡単にI/Oデバックができます。

## 各部の名称



## 使用上の注意

SW ENABLEスイッチはONにするとI/O操作スイッチが有効となります。



I/O操作スイッチを操作するだけで、出力はONとなり、アクチュエータやシリンダーなどが直接動作するため、不必要な操作や操作ミスは危険ですのでご注意ください。

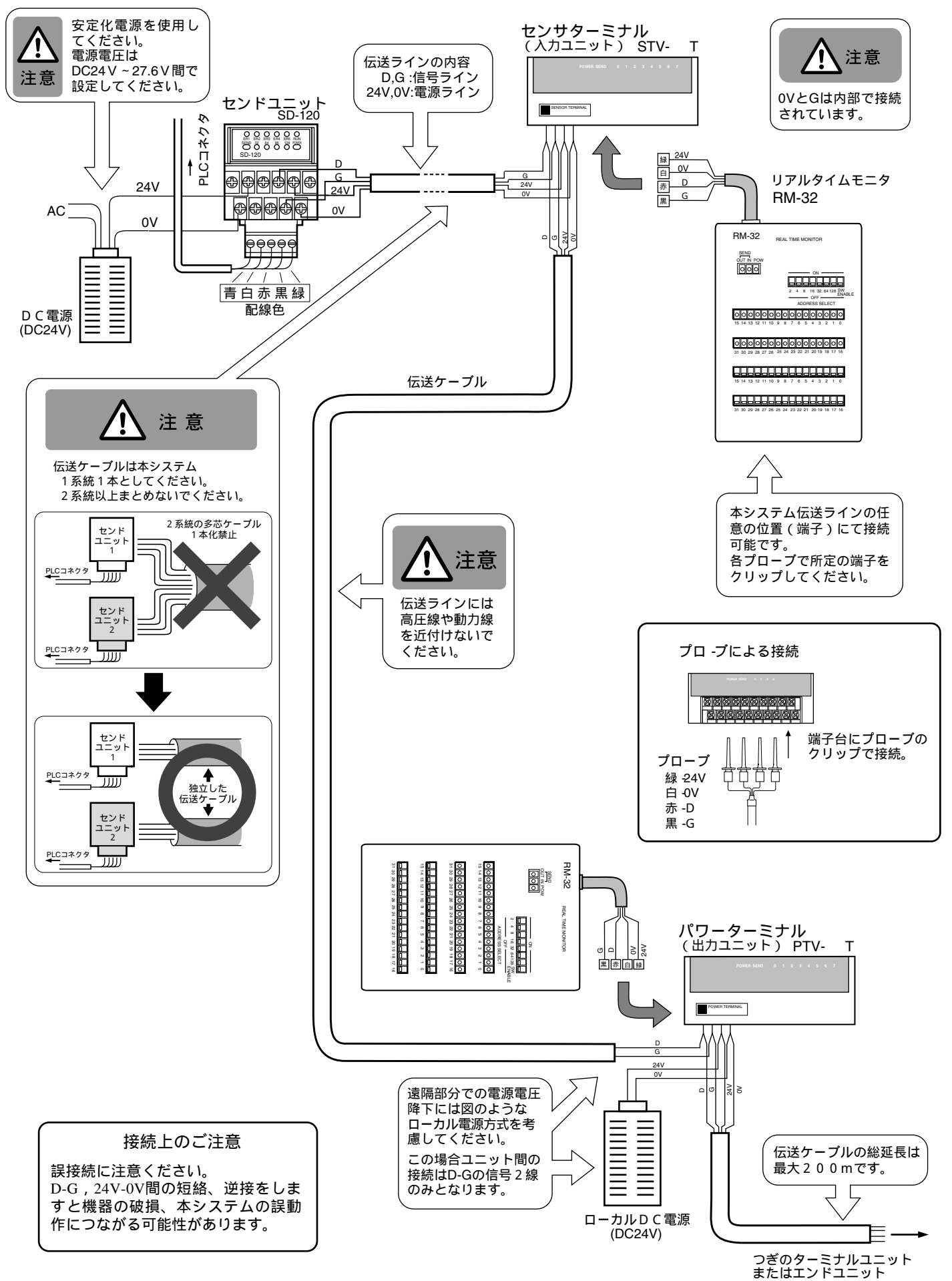
本機は内部で0VとGが接続されています。  
・本機の接続によりノイズに対する影響が変化する可能性がありますので、動作に異常がある時は直ちに本機の使用をやめてください。

RM-32 接続時は、I/O操作スイッチが全てOFFであることを確認してから接続してください。特に通電中の接続では予期せぬ動作につながり危険です。通電中の接続では、電圧降下検出機能の付いたターミナルで電圧降下検出をすることがあります。これはRM-32 内のコンデンサによる瞬間的なもので異常ではありませんが、ターミナルの機能上、その時点でのON信号が一瞬リセットされる場合がありますので通電中の接続はお避けください。

機器の分解はしないでください。故障の原因となります。

\* 電圧降下検知フリッカは電源リセットで解除です。

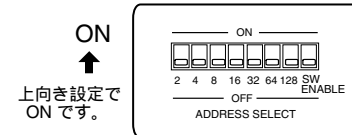
## 接続例



## アドレス設定

- ・アドレス番号はコントローラの入出力点との対応をとるためのものです。
- ・2点単位で設定できます。
- ・RM-32でのアドレス設定は次の方法によります。
  - ・操作, モニタしたいアドレスを先頭番地にする。
  - ・操作, モニタしたいアドレスを持つユニットの先頭番地と同じに設定する。
- ・RM-32は設定された先頭番地から32点が操作, モニタの範囲となります。

### アドレス設定スイッチ



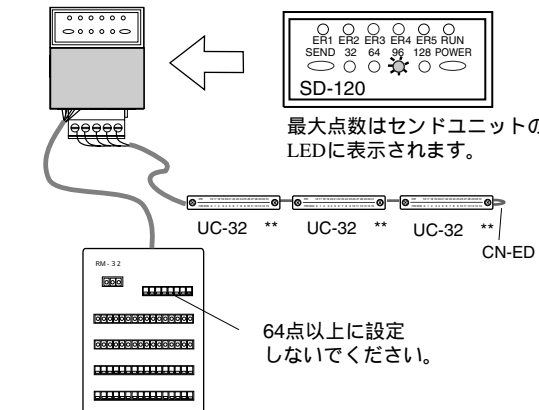
### アドレス設定方法

アドレス	2	4	8	16	32	64	128
0							
2							
4							
6							
8							
10							
:	:	:	:	:	:	:	:
128							
:	:	:	:	:	:	:	:
224							

印はON、無印はOFFの設定

**注意** RM-32のI/OアドレスはセンドユニットのPLCコネクタ接続台数によって設定される最大点数を越えないようにしてください。不要なスイッチが予期せぬ動作につながり危険です。

例) 96点に設定されている時は



## 使用方法

### 接続する前に

RM-32のアドレス設定スイッチを操作したいアドレスに設定します。  
注) 設定した先頭番地以降32点が操作範囲となりますので不必要なアドレスのスイッチは操作しないでください。思わぬ動作で事故の原因となる可能性があります。

RM-32のSW ENABLEとI/O操作スイッチがすべてOFFであることを確認します。

### 接続方法

- ・本システムの電源をOFFにします。
- ・RM-32のプローブを伝送ラインに接続します。  
接続位置はRM-32でアドレス指定できますので特に制約はありません。操作に都合の良い場所をお選びください。

- ・上記でOFFした電源をONします。この時RM-32を含め全てのユニライン機器のSENDランプ点滅、POWERランプ点灯およびセンドユニットのERランプ消灯をご確認ください。この他の状態の場合は接続、ケーブル、機器の異常が考えられますので、電源をOFFし、点検してください。機器破損、誤動作の可能性があります。

### 使用方法

- ・強制ON操作の場合は、SW ENABLEスイッチをONしてからI/O操作スイッチをONにします。
- ・入力モニタの場合は入力I/Oモニターランプにて結果を確認します。
- ・RM-32取り外しの際はSW ENABLEスイッチをOFFにした後、前記システム電源をOFFにしてプローブを外してください。
- ・アドレスを変更して、モニタしたい場合は、SW ENABLEスイッチをOFFにしてからアドレス設定スイッチを操作し、設定後、再度SW ENABLEスイッチをONしてください。

